

平成30年度 真野中学校のグランドデザイン

校訓
**立志力行
協力親和**

教育目標
豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒

重点目標
○広い視野をもち、自ら進んで学習に取り組む
○心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬく

地域に信頼される学校づくり
○開かれた学校運営の推進
○地域における体験活動への参加
○情報公開・広報活動の充実
○地域人材の積極的な活用
○地域芸能・文化への理解・協力

学校評価

・PDCAによる学校評価の実施
・学校関係者評価、生徒評価の実施
・生徒による授業評価・活動評価の実施

・地域懇談会、PTA、学年PTA
・学校サポート委員会

重点課題 1
学力向上の取組

<成果目標>
○Web配信問題で各学年が県平均以上の正答率をえられるようにする。
○「学年×10分」の家庭学習を行う生徒が70%以上にする。

<教育活動>
○Web配信問題の事前指導や事後指導を各教科で行う。
○学級担任や学年部職員が自主学習ノートの点検を毎日行う。

重点課題 2
郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進

<成果目標>
○総合的な学習の時間の学習成果を集約し、環境や地域を学ぶ活動を通して、地域を愛し、地域の未来を考える。
○職場体験活動を軸にした職業学習から、自分の将来について考える。

<教育活動>
○佐渡を愛する生徒を育てるため、総合的な学習の時間で、地域の方を講師にした「総合郷土」の学習を実施する。
○学年総会で、環境や地域・職業に関する学習を実施する。

重点課題 3
いじめ・不登校を生まない学校づくり

<成果目標>
○いじめや差別を許さない生徒を育て、いじめを発生させない。
○「学校生活が充実して楽しい」と感じる生徒が育ち、不登校生徒を増やさない。

<教育活動>
○いじめ見逃しゼロスクールをはじめ、いじめや差別について考える学級活動や道徳の授業を計画的に行う。
○いじめアンケートと教育相談を定期的に行い、生徒一人一人にきめ細かく対応する。

重点課題 4
体力を支える食育・健康教育の充実

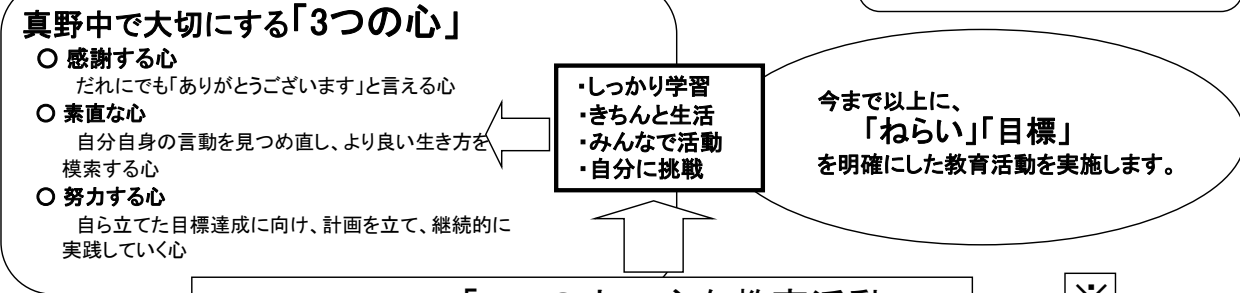
<成果目標>
○自己の健康に関心をもち、生活習慣を改善できる。
○体力テストで全国平均を上回る。

<教育活動>
○生活習慣を見直し、改善しようとする生徒を育てるため、保健指導を毎月実施する。
○部活動にめあてをもって取り組む生徒を育てるため、部長会を定期的実施し、各部の足並みを揃える。

教員評価制度

○一人一人の教職員が、自分で重点的に取り組むことを定め、達成度を評価しながら教育活動を推進します。

研究主題
○「分かる喜び・学ぶ楽しさ」を味わわせる育てる学習指導
真野中の教師は授業で勝負します！



真野中で目指す「4つの力」と主な教育活動

確かな学力

○「分かる授業」の実施
○教え、考えさせる授業等の実施
○Web配信問題の活用
○言語活動を重視し、話し合い活動や発表活動、学び合いに重点
○家庭学習習慣の形成
○朝読書・朝学習の実施
○職員研修の充実
○体験的な学習・問題解決

豊かな人間性

○いじめの根絶
○不登校を出さない
○中1ギャップの解消
○温かく居心地のよい学級集団づくり(思いやりの気持ちを持ち、人と関わる力を育てる)
○倫理観、規範意識の醸成
○道徳授業の充実
○教育相談の充実
○体験活動を核とした「心の教

自ら考え、主体的に判断し行動する力

○総合的な学習の時間の充実
○学校行事の充実
○自主的・自立的な生徒活動の推進
(生徒会・学級活動・部活動)

たくましさ・体力

○挑戦する心・我慢する心の育成
○身体的能力の向上
○部活動への全員参加
○健康・食への理解と実践

小・中連携の推進
・拡大中学校区訪問
・小中連携事業(4部会)

・真野校長会

生徒会スローガン
「一蓮托笑」

生徒の実態

- ・礼儀正しく、生活のきまりを守る生徒が多い。
- ・生徒全体が落ち着いている。
- ・集団に適応できない生徒が見られる。
- ・基礎学力、基礎体力に劣る生徒が多い。
- ・健康や生活習慣に対する意識が低い。

真野中学校の教育課題

- 不登校生徒を出さない
- いじめの根絶
- 気力・体力の増強
- 自ら学ぶ力の向上
- 基礎・基本の定着

地域保護者の願い

- 自立心が強く、創造力豊かな子ども
- 豊かな情操を身に付け、郷土を愛する子ども
- 勤労を尊び、率先して物事を成し遂げる子ども
- 気力・体力に富み、健康でたくましい子ども
- 思いやりの心を持ち、平和を実現する子ども

真野中で目指す「4つの力」と主な教育活動

確かな学力

- 「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」のある授業の実施
- Web配信問題の実施
- 選択教科の工夫
- 朝読書・朝学習の実施
- 職員研修の充実
- 家庭学習の形成
- 小学校との連携

- 「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」のある授業の実施
- ・授業前・後のアンケートの実施
- ・学習課題の確実な提示
- ・小集団の活用、学び合い
- ・学習内容を活用する場の設定
- ・体験活動や調査活動をする場面の設定
- ・ワーク、プリントの活用
- ・家庭学習と授業の連携

- Web配信問題の実施
- ・国語、数学、英語の3教科を実施
- ・学年部と教科部が連携した事前・事後指導の実施



○朝読書・朝学習の実施

- 職員研修の充実
- ・校内研修での授業検討会



- 家庭学習習慣の形成
- ・自主学習ノートの実施
- ・家庭学習の課題の指導
- ・長期休業中の学年学習課



- 小学校との連携
- ・小・中学校教員による交流授業の実施
- ・小・中の家庭学習のてびきの実施

豊かな人間性

- 道徳授業の充実
- 体験活動を核とした「心の教育」
- 温かく居心地のよい学級集団づくり（思いやりの気持ちを持ち、人と関わる力を育てる）
- 倫理観、規範意識の醸成
- 教育相談の充実
- いじめの根絶、不登校を出さない

- 道徳の授業の充実
- ・授業参観の実施
- ・体験活動を生かした道徳授業

- 体験活動を核とした「心の教育」
- ・「真野の里」との連携
- ・生徒会ボランティア活動の推進



- 温かく居心地のよい学級集団づくり（思いやりの気持ちを持ち、人と関わる力を育てる）

- ・あいさつと返事
- ・学校行事の工夫
- ・生徒会活動の活性化
- ・SGEやSSTの導入
- ・学級目標からの評価
- ・ピアサポート



- 倫理観・規範意識の醸成
- ・月の生活目標
- ・ノーチャイムの徹底
- ・問題行動を生徒に返し、自力解決

- 教育相談の充実
- ・年3回の相談期間
- ・カウンセリング研修会の実施

- いじめの根絶
- ・いじめ防止学習プログラムの実施
- ・アンケート調査の実施
- ・週1回の情報交換会の実施

- 不登校を出さない
- ・全職員による共通理解
- ・スクールカウンセラーとの連携
- ・学校としての組織的な対応

- 中1ギャップ解消
- ・中1ギャップ解消プログラムの実施

- 小学校との連携
- ・小学6年生対象の体験入学の実施
- ・小中合同陸上練習の実施

自ら考え、主体的に判断し行動する力

- 総合的な学習の時間の充実
- 自主的・自立的な生徒活動の推進（生徒会・学級活動・部活動）
- 学校行事の充実
- キャリア教育との連携



- 総合的な学習の時間の充実
- <総合郷土>
- ・狂言、文弥人形、竹細工、版画、和太鼓、生け花、茶道、工芸、リコーダー、佐渡おけさ、ジオパークの各コースを設定する

- ・地域の人材の活用
- <学年総合>
- 1年 ふるさとから学ぶ
- 2年 社会に目を向けよう
- 3年 ふるさとの将来を考える



○自主的・自立的な生徒活動の推進

- <生徒会>
- ・生徒の手による集会や行事の実施
- ・生徒会組織の改善による専門委員長会、評議員会の活性化
- ・学級委員が自主的に活動できる学年朝会の工夫・実施
- ・自主的な活動を推進するための専門委員会の仕事内容の見直し
- ・リーダー研修会の実施
- <部活動>
- ・目標を明確にした部活動の実施

- 学校行事の充実
- ・行事そのものの目標に加え、個人や学級が「目指す姿」の設定
- ・学級目標との連動・評価
- ・生徒の相互評価の導入
- ・準備活動の時間と場の設定



- キャリア教育との連携
- ・職業体験学習の実施
- ・授業内容と職業体験等の内容を結ぶ時間の設定

たくましさ・体力

- 挑戦する心・我慢する心の育成
- 部活動への全員参加
- 身体的能力の向上
- 健康・食・環境への理解と実践

- 挑戦する心・我慢する心の育成
- ・挑戦する目標を明確に
- ・切磋琢磨する人間関係
- ・情報交換会の活用

- 部活動への全員参加
- ・状況、ニーズへの対応
- ・特設部の設置
- ・目標を明確にした取組

- 身体的能力の向上
- ・「体力づくり」の実施
- ・トレーニングの工夫



- 健康・食への理解と実践
- <保健指導の充実>
- ・学校保健委員会との連携
- ・歯の健康指導の実施
- ・食育指導の充実

- 環境への理解と実践
- <清掃活動の充実>
- ・清掃活動の徹底
- <環境教育の充実>
- ・スクールエコ活動の実施

